



2020年1月11日（土曜）

## 新春恒例・初登山・第二次「鍋割山（1272m）」登山隊リポート

～Report by 石井（photo by 池戸さん・石井）

1月4日の第一次登山隊の後を受けて、いよいよ第二次登山隊の出番です。

登山道の状況などは、1月4日の第一次登山隊と、さほど変化がありませんでしたので、第二次登山隊のリポートは趣を変えて作成してみました。

### ①参加者 ②初登山への準備状況 ③今回期待する事・目標等



- ①連チャンの池（まさか二週連続とは・・・）
- ②先週、第一次登山隊にも参加  
予習済みの山で前回のリベンジ（復讐・復習）を図る  
心技体・共に準備万端？の模様
- ③富士山を見たい  
陽射しの中で登りたい



- ①鍋焼きのおサナ（国定のおサナの別称もあり）
- ②正月はしっかり眠り基礎体力？養成  
収穫した落花生を煎りまくった（何の効果ありや？）
- ③去年食べられなかった「鍋焼うどん」を  
今年は食べたい～の一念  
這ってでも時間内にたどり着く（13：00がリミット）



- ①弘法のお瀧（本音は、酒と温泉が目的らしい）
- ②直近、プール・トレーニングを3回ほど  
（しかし、これは山登りなのだが・・・）  
正月に七福神巡りをした（脚力は付いたか？）
- ③〇〇肩も癒えたので、今年は山を頑張りたい  
年初から意識は高い



- ①バカ尾根のmoto（昨年1月に登った）
- ②年末から正月にかけて飽食  
孫ちゃん来襲で、お相手とシェフ業に専念？  
7日にジムでトレーニングしたのみ  
どうなることやら一抹の不安要素あり
- ③恒例の縁起ものなので参加

以上、なんだかかなりミステリアスなメンバー構成となりました



「渋沢駅」にて



バスでは最後尾に陣取り、よもやま話が始まった



大倉：ビジターセンター前にて 「ちーむ・クワトロ」：四輪駆動は、まともに動けば山道では強い





おサナさんから頂いた「お年賀」

ありがとうございます

この落花生を煎りまくって「腕力強化」をされたい。登りには「腕振り」が効果的か？

登山開始にあたって・・・



願わくば

富士の白嶺を望みたい

この鍋割の初登りにて

1月6日・平塚某所にて写メす



スタート前の関節ほぐしと筋肉の目覚まし運動



登山届を出し、アプローチに入る





午前中の天気は「曇り」、午後から「晴れ」の予報。遠望の丹沢の山々は雲で覆われておりました



道すがら、「初・鍋割」の「お瀧」さんに、ルートの概要を話す  
 アプローチの林道は長くて退屈。特に帰りは「飽きあきして、へこたれる」  
 急登の標識は位置を示すナンバーで合目ではない。10が出たらもうすぐ頂上と勘違いしないように  
 そこからが厳しく、踏ん張りどころと思うべし。などなど・・・



いつもの銅像に「帽子」のプレゼントが





水場、ペットボトルが少ない。営業時間は「13:00」まで、「鍋焼きうどん」を頂けるリミットだ



小休止でおサナさんが取り出した物は「伊勢うどん」、の袋の中には、間に合わなかった時の覚悟の非常食



「後沢乗越」へ、ここから登りが始まった。乗越はオンタイムで通過



この時間、周りの空はこんな感じでした  
急登に入り、おサナさん「各自のペースで」と、ご提案。「ゆっくり行くから」はいつもの通りでした





山頂付近では霜柱も見られましたが、泥濘はほとんど無く快適



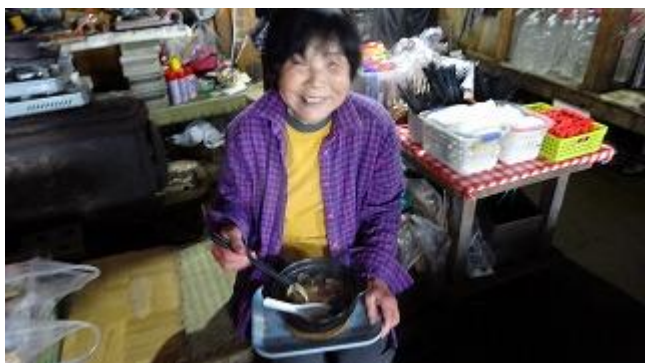
直下の林のトンネルを抜けると山荘に「とうちゃこ」

たどり着く時間に多少の凸凹はありましたが、全員「鍋焼きうどん」にありつく事が出来ました



熱・アツは体に沁みるな～。うん・ウマ・うまだ

ひたすら食べまくる。酒とお風呂とお食事か～



二年越しの「鍋焼きうどん」だ、満願成就のお顔です





食べ終わった後で、微笑みの「記念撮影」。¥1500 もしっかり収めました



13:10 を過ぎた頃、青空も覗き始めましたが「富士山」は裾野程度しか見えず、止む無く下山開始  
それでも、陽射しがあって連チャンの「池」さんの望みは一つだけ叶いました。お日様は暖かいな～



少し下ったところで、なんと、急速に雲が飛び始め、「富士山」がその姿を現し始めました  
「そこだ、風吹け、雲を飛ばせ」・・・の大声援。そして「やったね！！！！」  
「！マーク」四つは、この瞬間に出たおサナさんからのリクエストで、「四人分の！」を意味します





スマホでの富士写メ



檜洞丸方面は「霧氷」



乗越から後沢へ。逆光が「うれしい」池さん



木漏れ日の中、林道を歩く



大倉に近付くと、富士出現ではしゃぎ過ぎたせいで、早や「夕焼雲」になりつつありました







弘法の湯でさっぱりした後は  
恒例の「生ビール」・「延命水（日本酒）」・「血の一滴（ワイン）」で喉を潤しました

それにしても、「幸運な一日」でありました  
皆で鍋焼きうどん  
陽射しと富士  
お酒と温泉  
まずまずの完登・・・

「今年も頑張れそうだ～」・「晴れ女なのよ」だの  
あれやこれや勝手に言い騒ぎつつ  
鶴巻温泉駅で解散となりました  
ありがたや～・有難や  
目出度し・めでたし